

リーディングプログラムRA募集要項2014

博士課程教育リーディングプログラム 「東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」 平成26年度 リサーチ・アシスタント（RA）募集要項(M)

1. リサーチ・アシスタント（RA）とは

東北大学におけるリサーチ・アシスタントは、優れた大学院博士課程在学者等を本学の各部局において行う研究プロジェクト等に参画させ、研究支援体制の充実・強化並びに若手研究者の養成・確保を図ることを目的として採用されています。

2. リーディング大学院グローバル安全学トップリーダー育成プログラムとは

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

本プログラムの目的は、我国や世界が直面する、巨大地震や津波などの自然災害あるいは気候変動、エネルギーセキュリティなどの多様なリスクの発生メカニズムの理解により、防災および減災などのための工学的・社会科学的システム設計ができるグローバル安全学分野のトップリーダー人材を育成することです。この目的のため、科学・技術・人文社会科学の研究者が連携したプログラムにより、「安全安心を知る」、「安全安心を創る」、「安全安心に生きる」という3つの視点からリーダーを養成し、人類社会の持続性に寄与すると共に産業・社会システムの構築による安全安心な社会の創出や日本・東北復興の先導を担える人材育成を行います。

3. 本プログラムにおけるリサーチ・アシスタント

本プログラムにおけるリサーチ・アシスタントは、高い専門的知識を有する博士課程在学者を対象に、グローバル安全学分野のトップリーダーを育成することを目的とした前期後期一貫課程のプログラム開発支援・研究支援を目的として採用されます。採用されたRAはリーディングプログラム推進機構グローバル安全学教育研究センターにおけるリーディングプログラム支援RA」となります。

4. 対象学生

申請時に当該プログラムに参画している専攻等（注1）の博士前期課程1年に在籍する学生で、博士課程前期2年進級時に本リーディングプログラムを受験する意思があり、さらに博士後期課程に進学予定の者。

ただし次の各項に該当する者を除きます。

1. 社会人学生
2. 東北大学国際高等教育院博士研究教育院生
3. 国費外国人留学生
4. 日本学術振興会特別研究員
5. 授業料を全額免除されている者
6. 当該年度に本事業以外（T Aを除く）で大学に雇用されている者
7. リーディングプログラム奨励金受給者

注1：グローバル安全学トップリーダー育成プログラムに参画している研究科・専攻

- 文学研究科（文化科学専攻・人間科学専攻・歴史科学専攻）
- 法学研究科（法政理論研究専攻）
- 経済学研究科（経済経営学専攻）
- 理学研究科（天文学専攻・地球物理学専攻・地学専攻）
- 工学研究科（機械システムデザイン工学専攻・ナノメカニクス専攻・航空宇宙工学専攻・量子エネルギー工学専攻・電気エネルギーシステム専攻・化学工学専攻・土木工学専攻・都市・建築学専攻・技術社会システム専攻・バイオロボティクス専攻）
- 情報科学研究科（応用情報科学専攻）
- 環境科学研究科（環境科学専攻）
- 医工学研究科（医工学専攻）

5. 採用予定人数

20名

6. 採用予定期間

平成26年11月1日～平成27年3月31日（5ヶ月）

7. 勤務内容および義務

リーディングプログラム支援RAとして、プログラム担当教員の指導の下に、グローバルリーダー養成のためのリーディングプログラムを推進するための教育研究補助業務に専念することとなります。

特に、本リーディングプログラムの活動の推進と目標の達成のために、下記の事柄への積極的な参加は義務となります。

1. 月1回開催のリーディング定例全体会議への参加
2. リーディング開講講義の受講（受講可能なもの）
3. 本プログラム主催の会議等の企画、運営、参加・発表および支援

4. 本プログラムが行う英語の集中講義への出席

5. R Aの採用期間終了時における「リサーチ・アシスタント (RA)レポート」の提出

なお、プログラム参画部局や専攻における研究遂行に関する軽微な補助業務についてはプログラム担当教員および指導教員の指示のもとで従事できるものとします。

8. 給与（見込み）

月額75,000円程度

時間単価は、業務内容や書面審査の結果に応じて決定します。

9. 審査方法および方針

当該センターにおいて書類審査を行います。主要な方針は、以下の通りです。

1. 研究テーマ内容が「安全安心」領域の教育研究に資するものであること。
2. 指導教員推薦書、TOEFL/TOEIC等の成績、学部・大学院での成績、研究発表歴等は評価の対象となります。
3. 本プログラムに位置付けられている講義科目（高度技術経営塾、キャリアパス講義、PBL研修など）の履修生または修了生は優先的に考慮します。
4. 海外留学または海外における学会発表経験者を優先的に考慮します。
5. 被災地における教育研究・ボランティア活動を実施している学生は優先的に考慮します。
6. 本プログラムにおいて連携している外部機関との共同研究に従事する予定の学生は優先的に考慮します。

なお、審査結果は審査終了後に速やかに本人にE-mailにて連絡します。

10. 応募について

応募者は指導教員と相談のうえ、募集要項にある「申請書」に記入し（手書き不可）、指導教員印を押印の上、「指導教員の推薦書」（様式自由）、学部卒業時の「成績証明書」を添付して下記応募先に提出してください。

応募書類提出先：

<理学研究科在籍者>

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻青葉6-3
リーディング大学院理学分室（地学棟404号室）
TEL：022-795-6668
Mail：leading_jimu_sci@gcoe.tohoku.ac.jp

<その他研究科在籍者>

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻青葉6-6

工学研究科教総合研究棟9階 工学研究科務課リーディング大学院担当事務室

TEL : 022-795-4926

Mail : gs-office@bureau.tohoku.ac.jp

応募締切 :

平成26年9月29日(月) 15:00必着

問い合わせ先 :

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻青葉6-6

工学研究科教総合研究棟9階 工学研究科務課リーディング大学院担当事務室

TEL : 022-795-4926

Mail : gs-office@bureau.tohoku.ac.jp

申請書をダウンロード

博士課程教育リーディングプログラム
「東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」
平成 26 年度 リサーチ・アシスタント (RA) 申請書 (手書き不可)

平成 年 月 日

ふりがな 氏名					
学年・学籍番号	博士課程 前期 1 年 学籍番号				
所属	研究科			専攻	
指導教員名 (推薦書を添付すること)	(プログラム担当教員・授業担当教員)				印
連絡先	Tel. - - (研究室 -) E-mail				
奨学金・他の奨励金受給の有無 (TA・RA含む)	1 有 名称： 受給期間： 2 無				
外国語レベル TOEFL・TOEIC (どちらかに) スコア 点 (年 月受験)					
博士後期課程への進学予定 (前期課程学生のみ)				1 有 (平成 年 月受験予定) 2 無	
当プログラムの受験	1 昨年度受験 2 無 3 受験予定				
略 歴					
年 月	大学	学部	学科	卒業	
年 月	大学大学院		研究科	専攻	博士課程前期 入学
年 月	大学大学院		研究科	専攻	博士課程前期 修了・修了予定
年 月	大学大学院		研究科	専攻	博士課程後期 進学・進学予定
年 月					
職 歴 ・ 社 会 活 動 歴 等					
年 月					
年 月					
修士・博士 課程における研究題目					

: 該当する項目を丸で囲むこと

これまでの研究業績（1~5まで該当があるものについては、すべてご記入ください）

（論文発表、国内・国外での学会発表、学生賞の受賞等について記入してください。）

- 1．学術論文等への発表：著者(ファースト・オーサーに下線)、発表論文名、雑誌名、発表年月巻号等

- 2．国際学会発表：学会名、発表題目名、口頭・ポスター等の形式、発表年月等

- 3．国内学会発表：学会名、発表題目名、口頭・ポスター等の形式、発表年月等

- 4．受賞等：賞の名称、賞の授与団体、授与年月日等

- 5．その他（社会活動・留学等の活動や新聞、雑誌等への記事掲載など自己アピール点）

本プログラムに関連する授業科目の受講実績または受講予定科目

授業科目：

開講研究科：

開講時間：

その他特記すべき事項：

現在実施している研究テーマの概要（４００字程度）

現在の社会において求められている人材像と自分自身の大学院課程修了後のキャリアパスに関する考え方（４００字程度）

現在の研究テーマが安全安心な社会構築にどのような視点から貢献するか（４００字程度）

申請者の所属・氏名：